



事業の見える化で  
ベクトルを合わせて目標達成

VISION  
企業理念

ニーズをリアライズするモノづくり企業



STEP.1 策定のきっかけ

ベクトルを合わせて  
目標達成するために。

先代の頃はどちらかというとワンマンで自ら先頭に立ってリーダーシップを取り、行き当たりばったりの経営でした。事業を引き継いだのち手探りで事業計画を作成して進めてきましたが、客観性を持ったしっかりしたものを作りたく、産業振興センターのアドバイスを受けて事業戦略を作成しました。



STEP.2 取り組みの内容

幹部社員を巻き込んだ  
ベクトル合わせへ。

計画策定においては素人集団でしたが、弊社の経済的環境や特徴などを改めて認識する機会となり、幹部社員と情報共有する場も増えてきました。また、それぞれに役割を持たせることで目標に向かって進めやすい環境にもなりました。事業戦略は課題解決のPDCA活動の結果に基づき定期的な見直しを継続しています。



STEP.3 取り組みの効果

全社員のベクトルを合わせて  
目標達成へ。

特に若手社員を中心に目標に対し意欲をもって取り組むようになりました。また、各部門から事業戦略に沿った提案も増えるなどの効果が出ています。全社としては、課題解決に向けて体制の強化(部署の新設、統廃合)、専門知識をもつ人材の採用等の施策を行い、最近では取組課題として“10本の柱”を設定して事業を進めています。



VOICE 代表取締役 島田さん

個人の成果は仕事に対する考え方が重要であることを全社員に浸透させたい！

事業戦略を策定しても方針管理活動での個人の仕事への考え方が大きく影響すると考えています。年1回の経営方針発表会での情報共有によるベクトル合わせを行いつつ、機会あるごとに仕事に対する考え方が重要であることを伝えていきます。現在は仕事の考え方なども含めて人材育成につながる人事評価制度の構築を進めています。

